

# 令和4年度事業の行政評価

<b>事業名</b> 中野区勤労者福利厚生事業等支援	<b>所管</b> 区民部 産業振興課
----------------------------	------------------------

## 事業概要

基本計画の位置付け	政策	4	地域経済活動を活性化する
	施策	8	持続可能な地域経済の成長と働き続けられる環境づくり
	区政運営	—	—
根拠法令等	中野区勤労者サービスセンターに対する補助金の交付に関する規則		
個別計画等	—		
予算科目	款 4 項 3 目 1 事務事業 3 事業 産業支援		
対象者	主に区内の中小企業に働く勤労者及び事業主		事業方式 直営
目的(効果)	区内中小事業所の勤労者及び事業主の福利厚生の向上を図るとともに、区内企業の振興、地域社会の発展に寄与することを目的として、中野区勤労者サービスセンターに補助している。		事業の始期-終期 開始 平成18年度 終了予定 1年度
実施内容(4年度)	中野区勤労者サービスセンター（以下「勤SC」という。）へのセンターの管理運営事務その他必要と認める事業に要する経費に対する補助金の交付 【勤SC事業内容】 ○ 共済給付事業 祝金、見舞金、弔慰金 ○ 福利厚生事業 健康維持促進事業、自己啓発事業、余暇活動推進事業、生活支援事業、指定店・指定施設協定事業ほか		

## 事業のコストと人員

(金額単位：千円、( )内は対前年度比増減率で単位：%)

	2年度	3年度	4年度	
事業のコスト (C-D)	16,684	16,663	16,649	(△0.1)
支出 (C=A+B)	16,684	16,663	16,649	(△0.1)
事業費 (A)	15,862	15,862	15,862	(0.0)
人件費 (B)	822	801	787	(△1.7)
収入 (D)	0	0	0	(0.0)
従事職員数				
常勤職員	0.1人	0.1人	0.1人	
短時間勤務職員	0.0人	0.0人	0.0人	
会計年度任用職員等	0.0人	0.0人	0.0人	
計	0.1人	0.1人	0.1人	
				事業のコストの説明
				主な内訳(4年度)
				補助金 (15,862千円)
				主な増減(3年度から4年度)
				増減なし ※補助額の変更はなし

## 事業の実績・効果

(実績の( )内は対前年度比増減率で単位：%)

指標	単位	2年度実績	3年度実績	4年度計画	4年度実績
活動実績 補助金の交付額	千円	15,862	15,862	15,862	15,862 (0.0)
単位コスト 会員1人あたりのコスト(補助額/年度末の会員数)	円	5,048	5,416	4,406	6,047 (11.7)
事業の効果 年度末の会員数	人	3,142	2,929	3,600	2,623 (△10.4)
ユーザー視点	—	—	—	—	— (—)

有効性(活動実績分析)、効率性(コスト分析)、適正性(適切性・必要性)

【有効性・効率性】会員数が年々減少しており、会員1人あたりのコストは年々上昇している。  
 【適正性】複合的な要因による会員数の減少・収入の減少により、補助金支給額に対する事業効率が悪化している。

## 次年度予算編成に向けた評価

【事業の方向】	【理由】
その他	勤SCの会員数は年々減少しており、会員数の減少は福利厚生事業規模の縮小につながるため、補助金支給に対する事業効率も年々低下している状況である。 このような状況を鑑み、補助金交付目的である中小企業の福利厚生の向上に向け、より効果的な事業実施に向けた見直しの検討が必要である。